

2年間を振り返って

株式会社日水コン／水道事業部／北海道水道部／技術第二課 西島星蓮



1. はじめに

私は2023年に株式会社日水コンに入社し、現在3年目です。大学では土木工学を専攻しており、河川系の研究をしていましたが、水道に携わる仕事がしたいと考えていたため、水コンサルタントのリーディングカンパニーである、今の会社を志望しました。

今回は、社会人として過ごした2年間の振り返り、感じたことや伝えたいことを書きました。

2. 社内の取り組み

弊社では、水道事業部に所属する女性技術者の交流会「みずこまち」という取り組みがあります。年に2回意見交換を行い、働き方に関する様々な意見を共有し、そこで得られた有益な内容を社内に発信しています。働きやすさの改善と、より良い職場環境の実現を目的としています。

女性技術者が少ない現状で、このような活動を行うことで、男女ともに働きやすい環境が実現されればと思います。

また、過去の女性技術者の紹介においても、弊社社員がみずこまちの活動を紹介しており、集合写真を掲載していました。写真を見比べると、ここ数年で参加人数が増えており、社内の女性技術者数の増加を実感しています。今後もさらに増えていけば嬉しく思います。



写真－1 昨年のみずこまち（著者は後方左）

3. 業務を通じて

（1）技術者として

業務を通じて、技術の進化と技術者の役割について深く考えるようになりました。

この2年間で主に携わった業務のひとつが「管網解析」であり、条件を設定し管網のモデルを用いて水理計算を行うものです。解析には専用のソフトウェアを用い、自動で水理計算を行います。大学時代には同様の計算を手計算で行っていたため、ツールを使って瞬時に解析結果が得られることに感動したのを覚えています。このような技術の進化は、業務効率の向上に大きく貢献し、精度の高い判断や提案へと繋がると実感しました。

しかし、重要なのは最終的に得られた計算結果をどのように解釈し、活用するかです。その解釈と活用こそが、技術者の役割であり腕の見せ所だと感じています。

技術は日々進化し、多機能で高度なものが登場しています。それらの技術を使いこなすことができれば、より良い提案に繋がる判断材料を得られると考えています。

今後は新しい技術や情報に対して常にアンテナを張り、それらを適切に活用し、技術者として価値ある提案ができるよう努めていきたいです。

（2）仕事のやりがいとは

私の思う仕事のやりがいは、大きく2つあります。

1つ目は、業務対象の規模の大きさです。水道インフラは生活に欠かせないものであり、非常に多くのエンドユーザーに関わる仕事です。社会貢献性の高さと、それに伴う責任の重さが、やりがいに繋がっています。

2つ目は、お客さまに感謝されたときの嬉しさです。業務中は考えることも多く、楽しいことばかりではありません。ただ、最終的に「ありがとう」と言ってくれたら、頑張った良かったと思います。

このように、責任感と達成感、そして人との繋がりが、私にとってのやりがいであり、モチベーションだと実感しています。これからも様々な経験を通して新しいやりがいを見つけながら、前向きに仕事に取り組んでいければと思います。

4. 今後について

(1) 反省と目指すべき働き方

入社して間もない頃、OJT担当の方から「サステイナブルな働き方が大事」と言われたことをよく覚えており、社会人3年目となった今、その言葉の重みを実感しています。

最初の頃は覚えることが多く、仕事のスピードも遅いため、何をするにも時間がかかっていました。早く一人前になりたい、周囲に迷惑をかけたくないという思いで必死に頑張っていたものの、知らないうちに疲れが溜まっていました。

この時、休みなく走り続けるような働き方では、いずれ心身に限界が来てしまうと痛感し、息抜きや体調管理を大切にすること、「頑張る」と「休む」のメリハリをつけることが、持続可能な働き方には欠かせないのだと気づきました。

自分の気持ちをないがしろにせず、心身ともに健やかに働くことが、成長し続ける鍵になると思います。これからは、サステイナブルな働き方を意識して、少しずつでも成長していきたいです。

(2) 土木業界における将来について

最近、土木分野に携わる女性技術者を「ドボジョ(=土木女子)」と表すことがあります。このように女性技術者に着目することは、現在も男性技術者の多い土木業界において、ダイバーシティ理解の第一歩として重要だと感じています。

一方で、本当の意味でダイバーシティが浸透した社会とは、性別に関係なく活躍でき、性別を前提とした言葉は必要としないはずで。そのため、将来は「ドボジョ」という言葉を使わず、女性技術者が特別な存在から当たり前前の存在となることが、最終的なゴールであると私は考えます。

社会インフラに関わる仕事は、生活基盤を支える意義のある分野であり、性別の壁で女性が志す機会が減ることは、非常にもったいないことだと思っています。

このゴールに向けて、今は女性技術者について積極的に発信し、理解を深めることが必要な段階です。そうした取り組みを通して、多様な人が活躍できる社会の実現が進んでいくことを願っています。

5. 私のおすすめ！

私が実践している気分転換方法と愛用グッズを紹介します。気になった方はぜひお試しください。

●1点目：湯船に浸かること

忙しいとシャワーで済ませてしまう日もありますが、湯船にゆっくり浸かると、体の芯から温まり、リラックス

ス効果・デトックス効果が得られます。睡眠の質も向上し、翌日のパフォーマンスにも良い影響があると感じています。おすすめは、休日のお昼にお風呂に入ることです。ちょっとした贅沢感があり、特別な時間を過ごせます。夜も時間が生まれ、一日を通し充実感が出ます。

●2点目：オフィスでの保湿ケア

長時間オフィスにいと、乾燥が気になることがあります。顔の乾燥がストレスになることもあるため、手軽に保湿できるアイテムでケアするのがおすすめです。

直接手に取らずに使えるタイプであれば、キーボードを触ってもベタベタしません。また、香りのよいものを選べば、気持ちもリフレッシュできます。

●厳選おすすめグッズ

【入浴グッズ】

① uka スカルプブラシ ケンザン

頭皮ケア用ブラシです。シャンプー時に使うと、凝固固まった頭をほぐしてくれて、すっきりします。

② AYURA 入浴剤

乳白色のお湯と素敵な香りで、癒されます。特別な日に使いたいアイテムです。

【手につかない保湿グッズ】

③ アベヌウォーター

南フランスの温泉水100%のスプレータイプの化粧水で、敏感肌の方でも使えます。ミニサイズもあります。

④ ipsa ザ・タイムR デイエッセンススティック

スティック型の美容液で、メイクの上から使えます。ベタつかず、さっと塗れます。



写真ー2 厳選おすすめグッズ

6. おわりに

2年目までは東京の本社勤務でしたが、3年目となる今年からは北海道での勤務となり、仕事内容も計画から設計分野へと変わり、日々勉強と挑戦の連続です。

これまでの経験を糧にしつつ、今後は様々な分野の業務に取り組んでいきたいです。

また、日々支えてくださっている周囲の方々への感謝の気持ちを忘れずに、サステイナブルな自分なりの働き方を築いていきたいと思っています。